

指定管理者に関するモニタリングシート

黄色のセルを施設担当課が記入

1 施設の概要

(モニタリング実施年度: 令和 1 年度)

施設の名称	旧河澄家	指定期間	27年度～	1年度	
		指定の方法	単体施設を指定管理		
施設所管課	社会教育部文化財課	連絡先	072-984-1640		
設置目的	郷土の文化財を広く市民の利用に供し、市民の郷土理解と文化的向上に貢献するため、旧河澄家を設置するもの。				
施設内容・業務内容等	東大阪市指定文化財 旧河澄家は、敷地面積が1634.89㎡で、主屋、棲鶴楼、蔵、庭園などからなる。指定管理者には、施設の維持管理業務、展示業務、体験学習等各種活用事業を委託している。				
指定管理者	株式会社 アスウェル	連絡先	072-939-7861		
人員体制	正規職員	3	人	パート・アルバイト	3
				その他	0
					人

2 管理運営状況等

年度	実績			今年度(予算)	次年度(見込)
	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和 1 年度	令和 2 年度
管理形態	指定管理	指定管理	指定管理	指定管理	指定管理
供用(開館)日数	302	306	303	303	303
指定管理委託料(千円)	15,942	16,403	16,718	17,207	-
利用状況指標	1 入館者数(人)	6,518	6,683	7,165	補足説明
	2 施設利用者数	145	385	229	補足説明
	3				補足説明

3 モニタリングの総括

「個別評価」(自動表示) : S=チェック項目が全て○、A=×がなく「得点」が中間点以上、
 B=×がなく中間点未満あるいは×が1個で「得点」が中間点以上、C=×が2個以上。
 「最終評価」(任意決定) : 個別の評価結果を踏まえて、評価者の裁量で決定する。

モニタリングの観点	施設担当課のモニタリング	
	個別評価 S A B C	評価できる点や要改善事項
A 行政視点 施設の設置目的が達成でき、事業の継続性が期待されるとともに、市民の安全の確保が図られているか？	A	市指定文化財である施設の設置目的を正しく理解し、事業を実施している。このため、継続かつ適切な事業展開により来館者が増加している。一方単年度で赤字を計上したことから、次年度以降の決算に留意する必要がある。
B 管理・運営能力 人員・予算等の資源を管理し、快適に施設や設備等を利用できる環境を整備しているか？	A	人員・設備・備品・清掃の管理について適切に実施されている。今年度も虫害が発生している。計画的に害虫駆除を実施する必要がある。
C サービス 平等な利用の確保及びサービス向上が図られているか？	A	イベント・展示等の事業の対象者を幅広い世代に設定することで、偏りのない世代に向けたサービスが展開されている。またそういった実務を通じ、職員の能力向上に寄与していると考えられる。
D 市民視点 市民の声が反映される管理・運営が行われているか？	S	アンケートの結果を事業に反映することにより入館者の増加にも寄与している点が評価できる。 引き続き、アンケート結果の分析等を通じて、管理運営事業の効果的な展開に反映できるよう、また入館者の増加に寄与するようにしていただきたい。
E 効果・効率性 施設の効果を最大限発揮しようとするとともに、管理経費の縮減が図られているか？	S	他団体と連携したイベントや定期的なイベントの実施により、より多くの方に施設の利用が促進されている点が評価できる。また、引き続き自治会や大学・高校生との協働イベントを実施することで、地域に根差した事業運営が実施されている。
F 法令等遵守 法令や各種規則等を理解し、遵守することで、社会的責任を果たしているか？	A	関係する法令や規則については、遵守されている。 事業計画や事業実績の公開方法について検討する必要がある。
課題への対応 今後の取組	最終評価 (任意設定) A	定期的なイベントの実施等により入館者数の増加がみられ、施設が効果的に活用されている。今後は、より一層の施設の利用を促進するため、小中学校との連携についても検討してほしい。